

# 本日の流れ

01	開会	KPMG 田村	13:00-13:05
02	人流データを活用した不動産分野等の課題解決実証事業の概要について	国土交通省 矢吹課長 国土交通省 武林課長補佐	13:05-13:20
03	実証地域の取り組みの成果報告		
	・ 東村山市「駅周辺再整備に合わせた公共施設・公共空間の最適化」	東村山市 杉山課長	13:20-13:40
	・ さいたま市（浦和美園駅周辺）「地域ニーズをとらえた商業地域形成」	一般社団法人美園タウンマネジメント 岡本専務理事	13:40-14:00
	・ 鳥取市「中心市街地活性化に向けた空き店舗・遊休不動産活用」	鳥取市 寺坂主幹	14:00-14:20
04	有識者からのコメント・データ活用の取り組み紹介		
	・ 東京都市大学 建築都市デザイン学部都市工学科 秋山祐樹准教授による講評・取り組み紹介	東京都市大学 秋山准教授	14:20-14:40
	・ 一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会（JADAA） 代表理事東海林正賢氏による講評・取り組み紹介	JADAA 代表理事 東海林氏	14:40-15:00
05	土地不動産分野における人流データを活用した課題解決手法の整理について	KPMG 石山	15:00-15:15
06	国土交通省の人流事業等の紹介	国土交通省 竹本係長	15:15-15:30
07	閉会	KPMG 田村	15:30



JADAA

オルタナティブデータ推進協議会

# オルタナティブデータの可能性と未来

一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会

代表理事 東海林 正賢

Japan Alternative Data Accelerator Association

# オルタナティブデータEXPO2024

金融&IT業界の情報サイト

GoodWay  
Financial & IT Media

トップ ニュース一覧 レポート一覧 イベント情報 企業サーチ マーケットニュース

取材レポート (当日の模様の記事と撮影写真でお届けするニュースコンテンツ)

取材レポート >> 記事詳細 < 前の記事へ

【オルタナティブデータ推進協議会 (後援: 金融庁・国土交通省・デジタル庁)】「オルタナティブデータEXPO 2024」を開催！



【一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会 (JADAA)】  
オルタナティブデータ EXPO 2024

2024年1月31日 (水)、一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会 (後援: 金融庁・国土交通省・デジタル庁) は、「オルタナティブデータEXPO 2024」を東京會館で開催した。



「オルタナティブデータEXPO」は今回で2回目の開催となり、回を重ねるごとに出席社および来場者が増加してきている。オルタナティブデータは、金融機関や投資家等が資産運用で利用してきた財務データなどの伝統的なデータとは異なるビッグデータや様々な情報源から収集できる多様な情報・データで、資産運用における投資判断の差別化を生み出すファクターとして、更に注目度が高まってきている。

会場では、23社のソリューションプロバイダーによるデータ活用のための展示、会員企業によるオルタナティブデータの活用に向けたパネルディスカッション、データ活用の最先端の事例を集めた様々なセッションなどが実施された。

登壇事例紹介







・登井 康則氏 (ISEG Data & Analytics ディレクター (JADAA 理事)) : 石川 尚雄氏 (アスタニューズ 投資運用支援事業本部 本部長)  
 ・保坂 崇氏 (JPX経団 フロントティア戦略部 統括課長) : 島崎 真太郎氏 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス データ・パライゼーション・アナリティクス ディレクター)  
 ・瀧井 幸輝氏 (アロクウォッチャー 知度かじ研究所 所長) : 奥田 拓人氏 (ゼロイト・トーマツリスクアドバイザー GRC シニアマネジャー)  
 ・鈴木 悠加氏 (日本システム技術 未来共創Lab 研究員) : 西巻 拓真氏 (KPMGコンサルティング Life & Science & Healthcare スペシャリスト)  
 ・藤井 尚氏 (エム・データ 代表取締役社長) : 辻中 仁士氏 (オウキャスト 代表取締役CEO)

パネル・ディスカッション  
① 「FACTBOOKにみるオルタナティブデータ活用の現在地」




<モデレーター>  
中村 卓雄氏 (三井住友トラスト・アセットマネジメント, DX推進部兼経営企画部 (JADAA 業務調整委員長))

<パネリスト>  
亀田 制作氏 (SCIMPOインスティテュート・プラス プリンシパル兼エグゼクティブ・エコノミスト (JADAA 理事))  
小池 理人氏 (SCIMPOインスティテュート・プラス 企画・公共政策グループ 主任研究員)  
眞家 友通氏 (Deep Data Research / Protosure Japan 顧問 (JADAA 理事))  
Paris Tung氏 (Neudata Senior Analyst)  
岡田 拓郎氏 (金融データ活用推進協会 代表理事)

本パネルは、昨年末に取りまとめたFACTBOOKを元に、日本におけるオルタナティブデータの活用状況、将来の活用拡大に向けた取組み、提供者や利用者が直面する課題を紹介しつつ、議論が進められた。

詳細は下記Webサイトをご参照ください。

<https://goodway.co.jp/fip/htdocs/joxfmwopf-3636/>

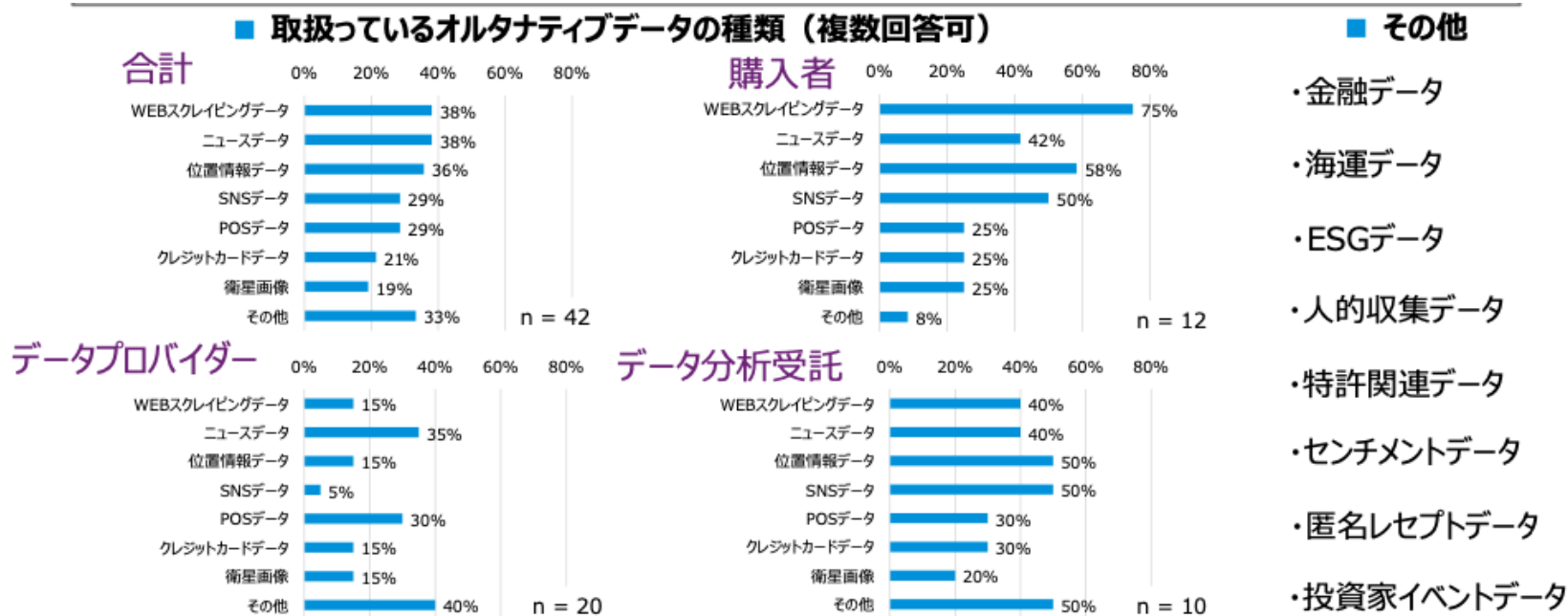
# オルタナティブデータの定義

テクノロジーの進化によって、今まで使われていなかったような非定型・非金融のデータなどすべてのデータがオルタナティブデータとして活用される可能性があります。



# 取扱っているオルタナティブデータの種類

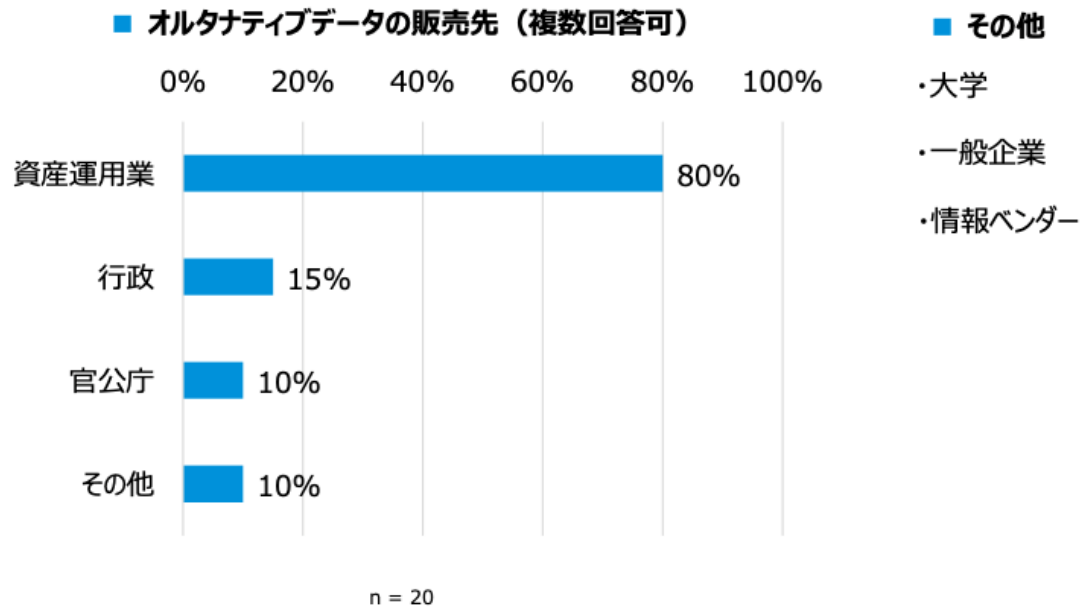
取扱っているオルタナティブデータの種類については、「位置情報」データは購入者からすると2番目に購入されており、様々な分析に活用されています。





# オルタナティブデータの販売先

データプロバイダーの回答によると、データの購入者は資産運用業者がほとんどではあるが、行政や自治体においても活用が始まっています。

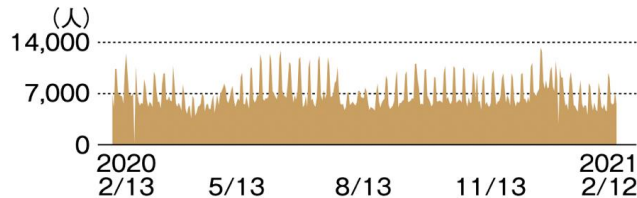




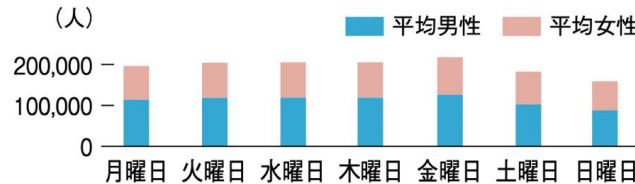
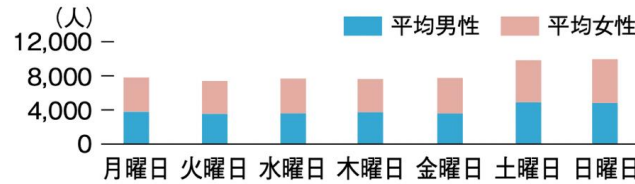
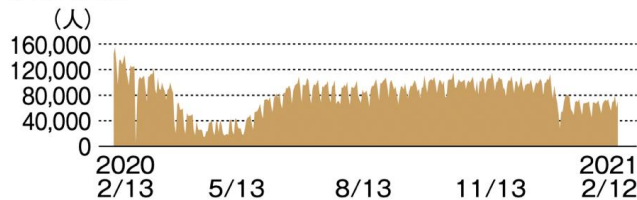
# 事例：コロナ感染に伴う人出の変化の地域差

渋谷駅と浜松プラザではコロナウイルス感染拡大に伴う人出の落ち込み方が大きく異なることがデータによってわかります。

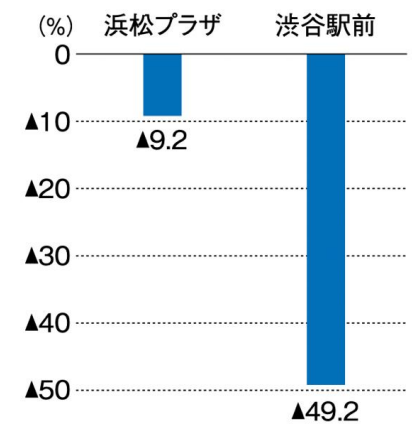
浜松プラザ



渋谷駅前



人出の変化率



(注1)これらのJCB消費NOWが提供するデータの母集団は、株式会社ジェーシービー(JCB)が発行するクレジットカード(JCBカード)の利用者の一部に限定されています。そのため、その提供データから得られる情報に基づいて消費動向等を完全かつ正確に把握することができるわけではありません。加えて、JCBカードの決済データの地域情報は、その会員の登録地をベースとしています。即ち、静岡県に在住する会員(静岡県を登録地とする会員)の決済データは、当該会員による登録地以外の都道府県やECサイトにおける消費に係る決済データを含みます。他方で、静岡県以外で登録された会員による静岡県内における消費は含まれていません。そのため、静岡県における消費動向を完全かつ正確に示しているわけではありません。以下同じです。

(注2)2021年3月については速報値を用いて作成しているため、確報値に基づく内容は上記と異なる可能性があります。

出所：株式会社KDDIの携帯電話の位置情報等のビッグデータの解析情報(2020年2月から2021年2月まで)に基づく推計値より本資産運用会社が作成

(注)「人出の変化率」については、2020年2月の滞在人口を2021年2月の滞在人口で除して算出しています。

# 事例：経済物価情勢判断への活用

日本銀行「オルタナティブデータを用いた日銀リサーチの紹介」では、経済指標を早く掴むための工夫をされていることが見て取れます。

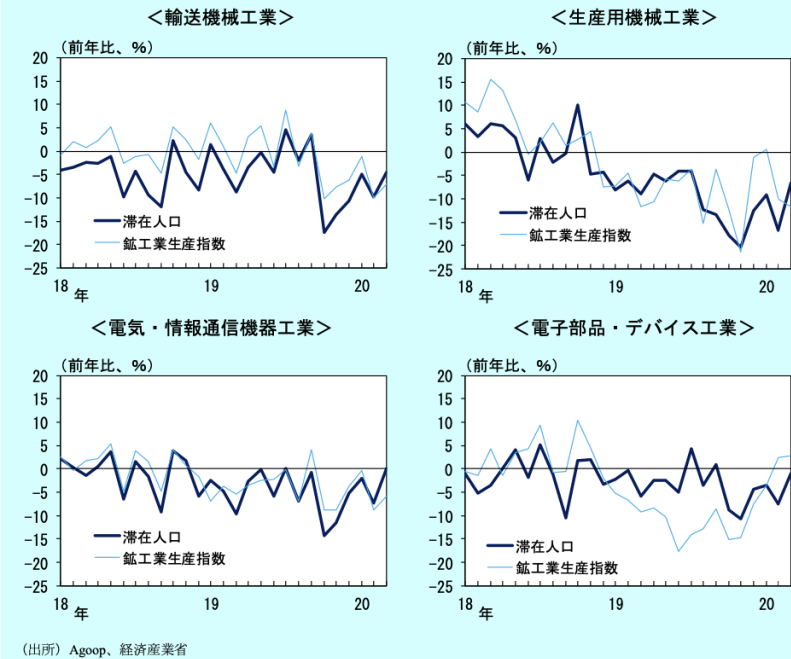
【図表1】位置情報に基づく人出の動向



(出所) Google LLC "Google COVID-19 Community Mobility Reports."  
<https://www.google.com/covid19/mobility/>

- (注) 1. ベースラインは、2020/1/3～2/6日の該当曜日の中央値。  
2. レストラン、ショッピングセンター、テーマパーク等の訪問者数。  
3. 直近値は、10/18～24日の平均値。

【図表2】潜在人口と生産活動（業種別）



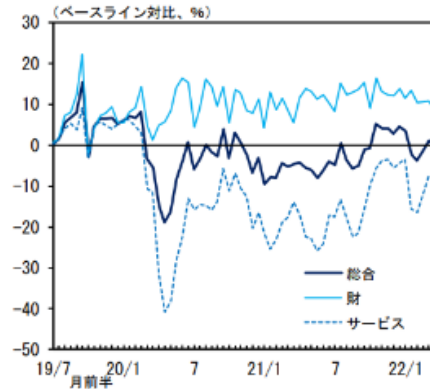
出所：[https://www.boj.or.jp/research/wps\\_rev/rev\\_2021/data/rev21j16.pdf](https://www.boj.or.jp/research/wps_rev/rev_2021/data/rev21j16.pdf)



# 事例：経済物価情勢判断への活用

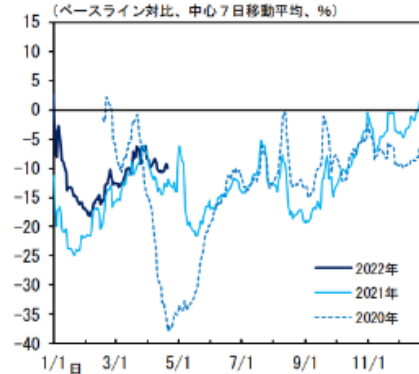
「経済・物価情勢の展望」にも様々なデータを使った分析が引用されています。

図表33：カード支出に基づく消費動向



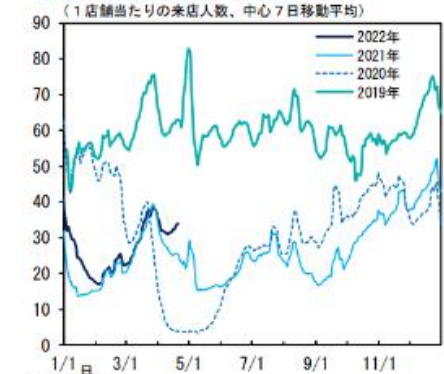
(出所) JCB/ナウキャスト「JCB消費MOJ」  
(注) 1. 支出者数の変化を考慮に入れた参考系列。  
2. ベースラインは、2016～2018年度の当該半月の平均。

図表36：位置情報に基づく入出の状況



(出所) Google LLC "Google COVID-19 Community Mobility Reports."  
<https://www.google.com/covid19/mobility/>, Accessed: 2022/4/28.  
(注) 1. ベースラインは、2020/1/3～2/6日の該当曜日の中央値。  
2. レストラン、ショッピングセンター、テーマパーク等の訪問者数。  
3. 直近値は、4/18～24日の平均値。

図表37：飲食店への来店人数



(出所) TableCheck  
(注) 1. 集計対象は、TableCheckが提供する飲食店予約顧客管理システムを導入している、約6,000店舗。  
2. 直近値は、4/18～24日の平均値。



# オルタナティブデータの今後

アセットクラスの多様化や対応すべき指標の増加によって、オルタナティブデータの活用が益々必要とされるようになります。

## 1 新たなアセットクラスへの対応

1

- 株・債券や商品先物に留まらず、REITやエネルギーインフラなどアセットクラスの多様化により、新たな評価指標と基礎となるデータが必要になってくる。

## 2 ESGやサステナビリティなどの新しいフレームワークへの対応

2

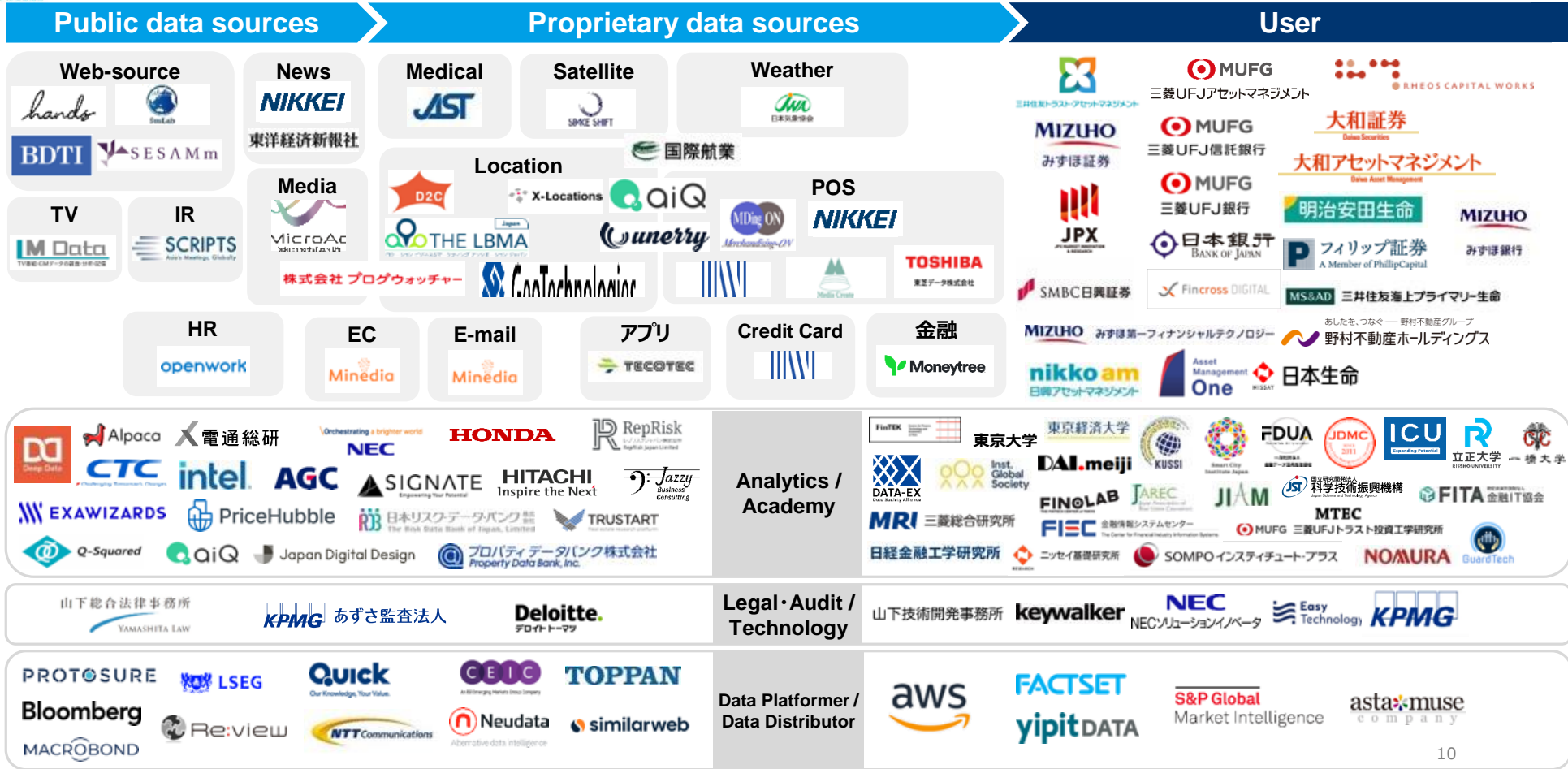
- ESG投資やSASBなど企業を評価するための新しいフレームワークが増えていきますが、根拠となるデータは一企業の開示情報だけでは追いつかない状態になっている。

## 3 資産運用の小口化・自動化

3

- ロボアドバイザーを使った手数料無料のビジネスモデルが台頭し、手数料収入が期待できなくなっている。オペレーションの自動化と商品の多様化のためにデータも多様化していく

# 入会企業・団体のカオスマップ





JADAA

オルタナティブデータ推進協議会

一般社団法人 オルタナティブデータ推進協議会

<https://alternativedata.or.jp/>

Mail: [info@alternativedata.or.jp](mailto:info@alternativedata.or.jp)